

to beets

minerals

2025

What is Mirai fes?

ミライフェスとは

Tobetsu Mirai Fes(トウベツ ミライフェス)は、地域の未来を担う若手世代が中心となり、「自分たちこそがまちの未来をつくる!」という決意のもと、当別町内外の企業、団体、個人の方々とともに、発展的かつ持続可能なまちづくりをしていく新たな一歩として企画し、開催したイベントです。

北海道医療大学の移転や、人口戦略会議が発表した「消滅可能性自治体」にて、全国23の自治体しかない「特に深刻」と発表されるなど、ネガティブな状況に陥っている当別町の未来を明るくしたい、という想いが発端となっています。

当別の青年会議所・商工会青年部・農協青年部・4Hクラブの青年団体と当別町(行政)が実行委員会となり、当別町内外の個人・団体・企業が3日間で50以上の企画を実施。

開催期間：2025年8月10日(日)から8月12日(火)

開催場所：学校法人東日本学園 北海道医療大学 中央講義棟10階

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757



当別の未来を明るく! 50を超える自主企画・出展

まちの未来の発展につながる様々なチャレンジや可能性を発信するイベントとして、多くの団体、企業、個人が企画、出展し、企画運営者は100名を越える事業となりました。具体的には、アイデアソン、ラピダス・北海道バレー構想、アジア1を目指すアグリバレー構想、ウイスキー工場設立、Airbnbとの協働他、大学移転に伴い失われる可能性がある公共交通の課題、数年後に予定されている役場新庁舎についてや、これからの子育て環境をどのようにしていくかなど、行政と民間が連携するイベントだからこそ様々な視点、角度から問題提起するとともにビジョンを示す機会となりました。

また、2日目は環境を推進する「ゆるエコフェス」も開催。持続可能なまちの実現に不可欠である環境やエネルギーについて、石狩振興局や北海道立総合研究機構、当別町など行政からの出展はもちろん、(株)JEPLAN、DNP、北海道情報大学など、多くの企業、団体、個人が大人から子どもまで学び、楽しめる機会を提供しました。

北海道医療大学の全面的協力から、大学で初のまちづくりイベント実現。

当別町を一望できる北海道医療大学 中央講義棟10階の1フロアを3日間貸切り開催しました。これまで地元民は歯科の利用以外では中々入る機会がなかったこともあり、本イベントを通じて、大学に初めて訪れるという方も多数いらっしゃいました。移転が決まった後ではありますが、大学が地元民にとって近い存在となるきっかけとなり、北広島市移転後も良好な関係、応援し合える関係の礎となるイベントになりました。

その先の展望

「トウベツ ミライフェス」は最低でも2029年開催の第5回目まで継続を前提に企画しています。本年の第1回目の輪が、開催毎に年々広がっていき、多くの人がイベントに関わり、多くの人が描くビジョンと行動が、関係人口を増やし、町内外からの新たな投資につながり、当別町の未来を明るくすると信じています。





Town mayor

当別町長
後藤 正洋

町内の若者たちが立ち上がり、創造した新たなイベント「トウベツミライフェス」に参加し、心から感謝の思いと敬意を表します。

北海道医療大学移転という危機的な状況に直面する中、この逆境を乗り越え当別町の新たな“未来”へ挑戦・前進する第一歩を踏み出す、素晴らしいイベントになったと確信しております。

イベント開催期間の3日間は会場である北海道医療大学に参加しておりましたが、まずはその企画プログラムの数と、参加している人の多さに驚きました。このようなイベントは当別町としても初めてであり、また全国的にも珍しい企画であると感じましたが、多くの方々がそれぞれの持ち味を活かした企画プログラムを提案されていたことや、こんなにも多種多様な人材が当別町を支えてくれていることがわかり、大変うれしい発見と感動の連続で、貴重な3日間を体験させていただきました。

何よりも志のある若い世代が、このように当別町を想い“未来”への希望あふれるビジョンを発信していただいたことが、町にとっては大きな力となり、町民へのエールになったものと確信します。

人材は町の“宝・財産”です。当別町は、明治初期に戊辰戦争に敗れた伊達政宗の子孫、岩出山藩主の伊達邦直公が家臣とともに開拓した北海道でも稀有な「武士が開拓したまち」です。刀を鎌に持ち替え、慣れない雪、未開拓地を切り拓いたフロンティアスピリット溢れる歴史を持っています。

今、この危機的なときに、第二の開拓「令和の開拓」ともいうべき挑戦を、町が抱える課題に正面から向き合い、「みなさんと共に更なる先へ」と町づくりを進めるために、私も全力で“まちづくり”に取り組んでまいります。

皆さまの益々のご活躍と、大きな期待も込めて私からのご挨拶とさせていただきます。

ともに前進してまいります!!



Chairperson

実行委員長
松岡 宏尚

Tobetsu Mirai Fesに企画者として参画していただいた皆様、ご協賛いただいた企業の皆様、会場を提供していただいた北海道医療大学の皆様、そして準備から撤収の最後の最後までお手伝いいただいた北海道医療大学の三川部長、また、当日参加していただき、関わって下さった全ての皆様に本当に感謝いたします。

2023年9月に大学移転の報道が出てから、このまちの未来は大きな不安に包まれました。何もしなければ衰退の一途を辿るだろうことが顕在化され、焦燥感に襲われ、何か行動を起こさなければならない、という一種の強迫観念かも知れませんが、それこそ「ダメ元」での挑戦が始まったように思います。

当時はどこか「人のせい」にすることで、その不安を紛らわすような空気感が漂っていましたが、このミラフェスの前後で、「自分たちの手で未来をつくろう」と変わってきたように思いますし、振り返るとまちの空気は一変したように感じています。

ミラフェス自体は、一つのイベントとして「大成功」とは言えず、たくさんの課題がありましたが、そんな小さな失敗や格好悪いことよりも、ちょっとダメだったとしても、その泥臭い一歩一歩がきっと何かにつながると信じています。そんな泥臭い活動によって、まちがちょっとポジティブになったと思うと、未来に向けて挑戦することに、きっと無駄なことなんてない証明できた機会だったのかも知れません。

「あきらめたら、そこで試合終了」というセリフがありますが、諦めた瞬間に、全てが本当の失敗になってしまいます。僕ら一人ひとりの力は小さいものですが、これからも新たな仲間と出会い、たくさんの小さな希望や可能性を見出し、しがみつき、がむしゃらに当別町の未来を明るくものにできれば、それはきっと楽しいことなんじゃないかと思っています。

この報告冊子は、それらの希望の種が生まれたミライフェスの軌跡のようなものです。是非読んでみて、何かヒントや共感する部分があれば、ぜひ一緒に進んでもらえたら嬉しいです。

また来年、再来年も一緒に進んでいきましょう!!

we are.

FARM AGE
Whiskey Student
Airbnb Japan
Wagamama Lab
MATSUOKA SHOJI, Y.K.
Kanko Tobetsu
Hokkaido Love!
JCI Tobetsu
macnica
Shigeru Takamura
upcycle_omami



Ryota Yamaya
TOBETSU IDEA LAB
Musubiya Yuiku
Tobetsu Ideathon
TOBETHON
aromaschool
Myrrh
MENARD TOBETSU
TG Seminar
SKY-VIEW
GAGNON

ha.zu.mo!
yoga bliss
Rabby Flower
Impulse
TOBETSU SHOKOKAI
HIU Saito Seminar
Masataka Omi
Tobetsu Council of
Social Welfare
JamStation
HERO TRADING
JEPLAN
JA YOUTH

TOBETSU
KAITAKUSHI
4H CLUB
NAZOMESHI
Hunter
Association
Green Smoothie
cafe Nana
GENMAIKOSO.
Co.,Ltd
yurueco fes
TOBETSU JINJA



北海道医療大学

位置





8/10 sun Opening forum

当別町をアジアを代表する地域に 講演 / ファームエイジ 小谷 栄二 氏



ファームエイジ株式会社 代表取締役の小谷と申します。今回、このように当別町の未来を語り合う場で登壇の機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

私どもが長年普及を続けてきた放牧酪農には、動物福祉や持続可能性を大切にしながら、その土地の資源を最大限に活用できるという大きな価値があります。こうした取り組みは、世界的にも再評価されているところです。

そこで私からは、「棲み分け」を応用するご提案をさせていただきました。山には野生動物、里には人の生活、その間に緩衝帯としての放牧地を置くことで、互いの居場所を守り合う。この考え方が、自然豊かな当別町で安心して暮らし続けるためには極めて重要です。

当別町には、この先の未来へ進むためのヒントがまだまだたくさん眠っています。私たちも、その可能性を形にし、やがてアジアを代表する地域として世界に誇れるよう、町の皆様と共に挑戦を続けてまいります。



8/10 sun Opening forum

当別発ウイスキー工場設立へ 講演 / Whisky Student 田中 隆志 氏

株式会社Whisky Student代表取締役の田中と申します。8月10日～12日に開催されたTobetsu Mirai Fesで、8月10日のプログラムであるビジョンフォーラムに登壇させて頂きました。実は弊社にとって「当別町の住民の方が自由に参加出来る形式での初めての事業説明の場」となりました。このとても重要な機会を賜ったことに感謝申し上げます。築88年で歴史的価値があるものの痛みが激しく修繕が必要な旧弁華別小学校舎を、極小規模で手造りと自社原酒のみの製品に拘るモルトウイスキー蒸溜所に改修することによって、後世に残そうとしていく当別蒸溜所のプロジェクトについてお話しさせて頂きました。聴いて下さった方から『応援します』『話を聞いて良かった』『ウイスキー飲みたいです』『弁華別小学校が活用されて嬉しい』と温かいコメントをたくさん賜り、嬉しい気持ちになるとともに、当別町と住民の皆様へのご恩返しをしっかりとしなければならないという決意を新たにしました。



8/10 sun

**子どもたちのアプリ開発体験会
/ (有)松岡商事×Wagamama Lab**

MIT発のアプリ開発をみんなで体験しよう!

有限会社松岡商事(松岡 良朋):体験会には小学1年生から高校2年生まで11人が参加し、子どもたちならではのユニークな発想が生まれ、「気軽にアプリが作れて楽しかった」と喜びの声をもらいました。また、トークセッションでは「デジタル教育の充実が地域の未来を拓くこと」を、再確認しました。私たちは、たったひとりのためにアプリをつくり、地域にシェアする活動が、子どもたちの人生の財産になり、挑戦する子どもを応援したい当別町の人々にとっても大きなムーブメントになると確信しています。

**あなたの脳波を測定してみませんか?
～InnerEye体験～
/ 株式会社マクニカ**

三日間とも参加させていただきました。農業DXで取り組んでいるインナーアイという脳波測定の体験、環境課題への取り組みの展示、公共交通に関するパネルディスカッション。たくさんの方とお話でき、皆様にマクニカの取り組みを知って頂ける機会をありがとうございます。明るい未来に向けて、またご一緒したいと切に願っております。

8/10 sun

Airbnb Japan×まちづくりDIY
/ 当別町商工会青年部

講演 / airbnb Japan 谷口 紀泰 氏

当別町商工会青年部:Airbnbさんとの出会いは2年前、北海道医療大学移転報道がきっかけでした。報道後、アパートやマンションの空室増加対策について、どうか手立てはないか、とHPの問い合わせから当別町の現状や今後について相談させて欲しい、と問合せを行ったところ、谷口部長(ノリさん)がオンラインで相談に乗ってくれたことが始まりでした。それから1年後、アパート組合の勉強会で長野県辰野町の方々をお呼びし、実際に当別町にお越しいただき、様々なヒントや可能性のあるお話をいただきました。

そして今年、ミライフェスでもワークショップを開催していただきました。ノリさん(谷口部長)はいつも「当別町は本当に可能性がある」とおっしゃっていただき、まちが一体となって未来に進んでいくお手伝いをしてくれています。

様々なまち、世界を見ているAirbnbさんだからその知見、そして実際に全国で伴走されている経験をお借りし「まだまだではあるけれど、これからがある当別、一歩ずつ、みんなで進んでいければ!!」そんなことを感じた1日でした。

これからも継続的な活動を通じて、明るいまちの未来の創造に向けて進んでいきます。





8/10 sun

「他とはちょっと違う当別町」の実現に向けて / 高村 茂氏

レクサンド市との姉妹都市関係のさらなる活用!ほか全3テーマ

高村 茂:当別町の未来は、住民の皆さんのこだわり・想いを結集して創っていかれると思います。

8/10 sun

当別町の未来を担う子どもたちのためのマネーセミナー / 山谷 亮太氏

犯罪から身を守り、資産No.1のまちへ

山谷 亮太:金融詐欺や闇バイトなど、若者の周りでは金融リテラシーの低さから犯罪に巻き込まれるケースが増加しております。子供を育てる親世代と、当別町の未来を担う子供達の金融リテラシーが向上することで、当別町の子供達が将来犯罪のリスクに巻き込まれることなく、かつ資産NO1の街を作ることに寄与するセミナーを開催しました。多くの方々にお金の仕組み、投資の仕組みをお伝えすることができ、子供達にも分かりやすくお伝えできました。1人でも多くの方々が犯罪に巻き込まれるリスクなく、資産を増やすことができる機会を得られたと思います。今後も、1人でも多くの町民の方々に、お金の仕組みをお伝えし、正真正銘資産No.1の街にします。

8/10 sun

‘売れる当別’ みんなの作戦会議 / TOBETSU IDEA LAB

当別町の未来を再設計!

TOBETSU IDEA LAB(小玉 久瑠美):当別町を活性化させる第一歩として、当別をどこかに売り込める商材に見立てて、魅力の創出をすることを目的としたワークショップを開催しました。当別町でビジネスをしておられる方々を含め、当別を売り込む気持ちで新たなことに挑戦したいと思っています。



8/10 sun
8/12 tue

**ロボット制作と創造性学習
 英語の正しい学び方を専門家から学ぼう
 / TG Seminar**

講演 / 伊藤 伸哉 氏

伊藤 伸哉:会場では、小中学生向けロボット展示と制作体験会を設けました。プログラムで声に反応するサッカーロボなど、子供たちは興味津々!相撲ロボの作成・対戦イベントも盛り上がりました。暗記学習とはひと味違う、創意工夫から得られる体験型学習を満喫!

ステージでは、創造性学習法を軸に、インターナショナル・バカロレア校、MITやスタンフォードなど海外トップ校、TOEFL/IELTSなど国際標準試験の魅力、面白くて為になる勉強で国内難関校突破法などお話ししました。

「学園都市線」沿線の当別町、まさに「教育のまち」として盛り上げていきましょう!

**減災に向けて「風呂敷」を手に
 / 結び屋ゆいく かほこ**

3.11での被災体験から分かった減災に役立つお話

震災を経験した私だから伝えられる、地域の減災意識と人とのつながりの大切さをテーマにセミナーを企画しました。風呂敷の活用法を交え、日常の備えや助け合いの大切さを体感してもらうことを意識しました。開催を通じて、子どもから大人まで幅広い方々が防災を身近に感じ、絆が深まる成果を実感。これからも、助け合える町づくりを皆さんと一緒に進めていきます。



8/10 sun

**とうべつミライ観光セミナー
/ 当別町観光協会・(公社)北海道観光機構
(一社)当別青年会議所**

北海道の視点から見る当別の観光ポテンシャル
講演 / 長野 博樹 氏

当別町観光協会(事務局次長 佐藤 太一郎):北海道観光機構から長野様をお迎えし、当別町への観光客誘客における課題をお話しいただいたほか、長野様と当別青年会議所の泉久保様、町内で民泊施設を経営している(株)テー・ジー・エスの辻野様の三者によるパネルディスカッションを行い、受け入れ側の課題や今後の展望についてクロストークを交えながら来場者の皆様へ発表させていただきました。北海道医療大学移転に伴う経済損失を観光客誘客で取り戻すために必要なことを再確認でき、とても貴重な機会となりました。



8/10 sun ・ 8/12 tue

**大人も子どももセラピスト!
ユニフォームを着てお仕事体験
/ メナード当別**

キッズサイズのユニフォームを準備、キッズにはそれを着てもらって、ご家族はお客様役となって頂き、ハンドケアをやってもらいました!イメージは、お台場にあるキッズシアターです!お仕事体験をしてもらうことで、将来の夢を広げてもらいたいまた手の温もりを通して、親子の絆を深めることにも、わずかでも、きっかけになったらとても嬉しいと思い、企画実行しました!成果としては、皆様、親子でとても素敵な笑顔で参加して頂けたと思います!意外に男の子も美容が好きなんです!って言うってもらえることも多く、自由な感性で好きなことを思いっきりチャレンジして欲しいと思いました!新しい時代を感じ、未来が楽しみになりました!また来年なども参加させて頂けるならば、次はメイクとかも取り入れて、やってみたいです。新しい出会いを多くさせて頂きましたし、クリエイター同士のつながりも広がりました!企画実行してくださった方々に感謝です!

8/10 sun

8/12 tue

とうべつアイデアソン「トベソン」

当別町の未来に向けた課題を
ビジネス視点で解決するプログラム

メンター

田名辺 健人氏 クラウドファーム株式会社 代表取締役

新発田 大地氏 さくらインターネット株式会社
社長室 イノベーション共創グループ
スタートアップチーム 北海道担当

鰐淵 真太郎氏 当別町 企画部デジタル都市推進課長

鰐淵 真太郎:医療大学移転に伴い、当別町が今後直面する課題をテーマに、集まったメンバーが2日間にわたってブレインストーミングを行い、ショートピッチまで仕上げたアイデアソン。町内の若手起業家と第一線で活躍するベテランの参加者の力を得て、2つのアイデアを発表することができました。ひとつは、若者の「やりたいこと」を深掘りし、町を盛り上げるために実現可能な形へと落とし込んだアイデア。もうひとつは、空きアパート対策として当別のポテンシャルを最大限に活かした、突き抜けた発想のアイデア。いずれも既存の枠組みにとらわれない自由な発想から生まれたもので、町のミライに希望を感じさせるイベントとなりました。





放牧をテーマにしたボードゲーム / ファームエイジ株式会社

日本の酪農が直面する課題を"遊びながら理解する"

ファームエイジ株式会社(大西 司):酪農家さんの数が減少する現状において、農家の作業がきつい、時間的余裕がないなどの状況を解決するのが「放牧」と考えています。酪農の現状をお伝えし、1つの手法として「放牧」があることを知っていただきたいという想いでこのゲームを作りました。今後農家を継ぐアトツギの方、そして農業に興味のある方に幅広く認知してもらいたいです。今後もボードゲームを使った交流を通して、街の活性化、農業普及に関わっていきます。



お好みの香り・お悩みに合わせた精油を ブレンドしてクリームづくり / aromascool Myrrh

aromascool Myrrh(服部 亜希):お好きな香りやお悩みに合わせた精油を使ったアロマクリーム作り。想像以上にたくさんの方にお越しいただき(クリーム容器が売り切れてしまい)慌ただしく時間が過ぎて行きお昼で店じまいになってしまいました。今後は十分に容器を準備したり、予約制にする等して一人一人のお客様により満足いただけるようにしたいです。

8/10 sun



8/10 sun · **8/11** mon

Green smoothie cafe
/ Green SmoothieオフィシャルインストラクターNana

当別産の野菜やフルーツなど地元食材を
取り入れて美味しい1杯に想いを込めてご提供

当別町産の旬で新鮮な葉野菜とフルーツを使用したグリーンスムージーを2種類販売しました。

葉野菜は夏が旬の、大葉、おかひじき、パセリ。またこの時期限定の地元産の大粒の生のブルーベリーも使用。フレッシュなものをお客様にお届けするため、朝採れ野菜にこだわり農家さんのところからイベント当日仕入れたものでお作りしました。お子様~大人の方まで男性女性沢山の方にお手にとって頂き美味しく召し上がって頂けました。グリーンのパリュームに驚きながらも仕上がりの味の美味しさにビックリされる方が沢山!!来年もまたおいしいスムージーをお作りしてお待ちしています♪



8/10 sun · **8/12** tue

当別町産お米を抽選でプレゼント!
/ 北いしかり農協青年部

北いしかり農協青年部では農協のお米である北えがお(ゆめぴりか、ななつぼし)をミライフェス参加者に抽選でお配りしました。

北いしかり農協の北えがおの宣伝や、地産地消の大切などを伝える事ができました。また企画者の方々にもご協力いただき、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。





8/10 sun

STARTUP MEETUP! in 当別町

北海道で活躍するスタートアップ2社の講演&交流会を開催!

講演 / 品川 広樹 氏 株式会社Flyers 代表取締役
 堤 幸太 氏 エゾウィン株式会社 エリアマネージャー
 鰐淵 真太郎 氏 当別町 企画部デジタル都市推進課 課長
 新発田 大地 氏 さくらインターネット株式会社 社長室 / STARTUP HOKKAIDO実行委員会

新発田 大地: STARTUP HOKKAIDO実行委員会では、スタートアップ2社(株式会社Flyers、エゾウィン株式会社)と当別町デジタル都市推進課 課長をスピーカーに迎え、起業や地方創生に関心を持つ方々に向けたトークセッションを実施。各者の活動紹介に加え、地域におけるスタートアップの影響や町内企業との連携、当別町が抱える課題についてディスカッション。交流会では登壇者と町内外の参加者にて活発な意見交換が行われました。



8/10 sun • 8/11 mon

謎メシハンターズ 究極レシピ合成大作戦DX / 謎メシハンター協会

あたらしい「謎メシ(=未知のご当地グルメ)」を創造する体験型イベント

石田 奨太: 当協会は、全国のご当地グルメの中でも「未知の名物」=謎メシを発掘・プロモーションする団体です。今回は、会場内に隠された食材カードを集め、組み合わせでオリジナルのご当地グルメを開発するワークショップを実施。50を超えるユニークなレシピが誕生しました。遊びながら地域の魅力に触れられる体験として、会場全体の回遊促進にも寄与。今後も「食」という切り口から、地域資源や食文化の保全・新たな価値創造をし、持続的なまちづくりに貢献してまいります。



8/10 sun

笑顔が溢れる健康な
とうべつの実現に向けて
/ 株式会社玄米酵素



ハイ・ゲンキ、かなう玄米の販売&サンプル配布

当別町で作っている栽培期間中無農薬の玄米(かなう玄米)の魅力と食事の大切さをお伝えしました。

創業以来、「食改善で真の健康をお届けする」という理念のもと、セミナー・料理教室などの活動を通じて、(株)玄米酵素が提唱する食のかたちを「食事道」と名付けてお伝えしてきました。飽食・美食の時代だからこそ、何を食べるかを「選ぶ力」が求められます。大人だけでなく子どもたちにも、食についての正しい知識を伝え、未来の子どもたちに良い財産を残していきたい。

現在一部の学校で玄米(かなう玄米)を食べてもらっているが今後は当別町の小中学校で玄米食を広げて、日本で一番医療費が少ない町にしていきたい。

物流用ドローンのデモフライト
/ ジャムステーション

普段見ることが出来ない最先端ドローン

鈴木 勝也:大学グラウンドで大型の物流用ドローンのデモフライトを実施しました。産業系イベントでは例がありますが、町民向けイベントとしては初の試みでした。約20名の来場者があり、小さなお子さん連れの家族や学生など、普段ドローンに触れる機会のない方々にも間近で見てもらえました。プロペラの風を感じて歓声を上げる子どももあり、大変好評でした。次回もより多くの人に見てもらえるよう工夫し再挑戦したいです。

とうべつの開拓
歴史漫画の展示&歴史講壇放映
/ 当別神社

当別町は、大学移転という未曾有の危機ですが、約150年前に戊辰戦争後から家臣と共に当別町を開拓した伊達邦直公のように、これからのまちの未来を開拓していく機運を高める機会に、当別開拓歴史漫画「紙ヒコーキに乗って」の展示と故山田健太氏による当別歴史講壇の放映を行いました。

Marche

マルシェ



food truck

キッチンカー

8/10 sun
8/12 tue



とうべつ ゆるエコfes

8/11 mon

当別町 住民環境部

種田 統

当別町は、ごみの処理を石狩市に委託しておりますが受入施設の耐用年数も限界に近づいております。未来を考えたとき、今すぐに4R活動に取り組まなければならない危機感から昨年、予算はありませんが(いわゆる“ゼロ予算”)、無理矢理「とうべつゆるエコフェス」を開催しました。手探りで始めたイベントでしたが、思いのほか環境に関心が高い町民、団体、事業所がいることがわかり、小さくても、ゆるくても行動を起こすことの大切さをあらためて認識しました。

今回は「ミライフェス」とのコラボで、“ゼロ予算”から“潤沢な予算”への処遇改善となり、色々な企画を実現させていただき感謝です!!

イベント当日は多くのお子さんにも参加していただき、様々な企画をとってエコへの意識を少しでも高めることに繋がったと思います。また今回は初の企画「エコレシコンテスト」、「アップサイクルコンテスト」を実施したことで、町民の中に多種多様なスキルを持った人材がいることもわかり、町のポテンシャルの高さを感じ、エコ活動への様々な成果がありました。

イベントを年間の定例行事のようにはしたくないの思いが強く、早速10月12日にお約束の“ゼロ予算”で「とうべつゆるエコ商店街」を本通振興会と連携して開催します。このイベントをとって商店街の人がエコへの意識を高めていただき魅力的な商店街にできたらとの思いと、多くの人が商店街を訪れて、楽しみながらゆるくエコを学び体験していただきたいと思います。

これからも手を変え品を変え、あらゆる形でイベントを開催し、“ゆるエコ”をブランド化(笑)していきたいという野望を抱いておりますが、私が定年退職したらイベント自体消滅するかもしれません(爆)。



ゆるエコビンゴ大会の様子

8/11 mon

エコアイデアレシピコンテスト
講師・審査員 / 料理研究家 星澤幸子先生

「食品ロス削減」オリジナルレシピのコンテストを開催。



エコアイデアレシピコンテスト 受賞者



アップサイクルコンテスト
審査員 / omami 中島 真弓 氏
展示・体験コーナーにて展示中の
アップサイクル作品に人気投票。



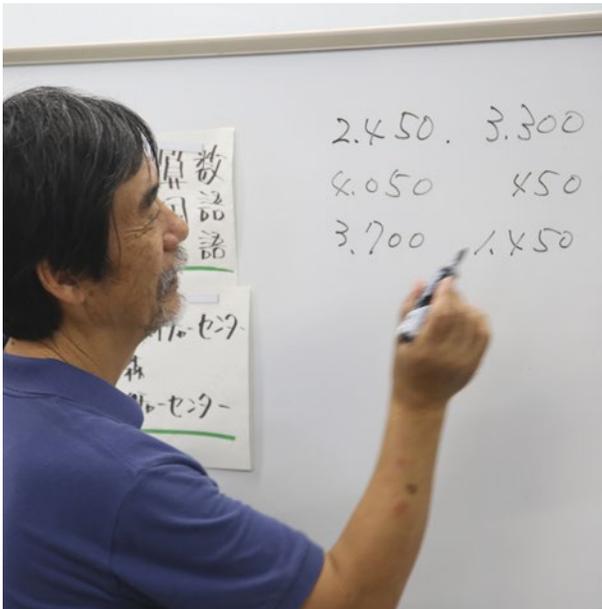
アップサイクルコンテスト 受賞者



8/11 mon

**ゼロカーボン環境学習
/ 当別町ゼロカーボン推進室
×石狩振興局保健環境部環境生活課**

ゼロカーボン北海道を目指して、環境学習ブースを出展。地球温暖化の原因となるCO2などの温室効果ガスを減らすための取組みを、カードゲームや輪投げを通じて楽しく学べる内容に。CO2の吸収源である木のぬくもりを体感できる「木のボールプール」も設置。小さなお子さまにも楽しんでいただきました。



8/11 mon

**ほっかいどう食品ロスセミナー
レストラン「エネルギー亭」によるこそ！
/ 北海道農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課
石狩振興局産業振興部農務課**

私たちが食べる料理にはどれだけのエネルギーがかかっているのか、レストランで料理を選ぶシミュレーションを通して、食品ロスやフードマイレージなどについて楽しく学ぶ機会となりました。

8/11 mon

映画に登場した自動車型タイムマシン

BTTF DMC-12

当別町住民環境部・株式会社JEPLAN

映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」劇中に登場するタイムマシンのオフィシャルレプリカ(株式会社JEPLAN所有のカスタムカー)の展示や撮影会を開催。

株式会社JEPLAN様は、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」の「使わなくなったものが資源となり、そのエネルギーでデロリアンが動く」という未来の技術に感銘を受け、オフィシャルのレプリカを特別に譲り受け、所有している企業です。

当別町は、株式会社JEPLAN様と包括連携協定を締結し、ペットボトルの水平リサイクルの推進を行っているとともに、今回のミライフェスのスタッフTシャツはJEPLAN様のリサイクル素材を使ったものとなっています。



8/11 mon

大型農業機械が登場!

／ 当別町4Hクラブ

当別町の農業を身近に感じてもらうために農業機械の展示を企画しました。農繁期の中での挑戦でしたが、普段目にする事の少ない大きな農機に、大人も子どもも興味を示す姿が印象的でした。多くの参加者に農業への関心を広げる手応えを得られたと思います。今後も世代を超えて交流できる場をつくり、地域を盛り上げる活動へつなげていきたいと考えてます。





8/11 mon 当別産のお花を束ねてみませんか？ / Rabby Flower

泉亭 優可子:花のまち当別。数多くのお花が育てられ、時期になるとたくさんのハウスが立ち並び、その中で花農家さんが一生懸命お花を育てています。お花の資格取得し、自宅でレッスンを始めた時、「町内の人は町内のお花は買わないよね」そんな言葉を言われたことをきっかけに、自分の町のお花を好きになってほしいそんな思いから、当別町で当別産のお花屋さんを始めてみたいと、今回の企画に参加させていただきました。

自分が考えていたよりも年齢も性別も関係なく、たくさんの方が寄ってってくれました。お祝い事には花束はつきものですが、今後はスーパーで食材を買うように町内のお花を買って、おうちに飾って欲しい。ロスフラワーに対しての活動も行っていきたくと考えています。



あつたらしいな!こどものいばしょ / 当別町福祉部子ども未来課

当別町では今、こどもの居場所が求められています。どの機能を優先して、こどもの居場所としての環境を整えていくのか、こども・若者、子育て世帯等のニーズを把握するために企画しました。

また、「どうぶつこどもHIRARI計画」を策定する際にこども・若者から意見聴取をした時には、「もっと他の学校の友達と交流したい」「学生の意見を伝えたい」「若い世代が中心になると、町に活気が出る」等の意見があったことから、こどもスタッフ同士の「学校間交流」、こどもスタッフと来場者との「世代間交流」の場とすることも目的としました。

こどもの発達や成長に応じて求める居場所は異なり、利用者に応じて選択できることが必要と考えていますので、今回いただいた来場者の意見を参考に、こどもの居場所について検討を進めたいと思います。



次世代に豊かな地球環境を
/ マクニカの環境DX



布ぞうりとみつろうラップを作ってみよう!
/ 新日本婦人の会 当別支部



ゲームで楽しく遊ぼう!ペットボトルのリサイクル
/ JEPLAN



辻野グループの環境に対する取り組み
/ 辻野グループ



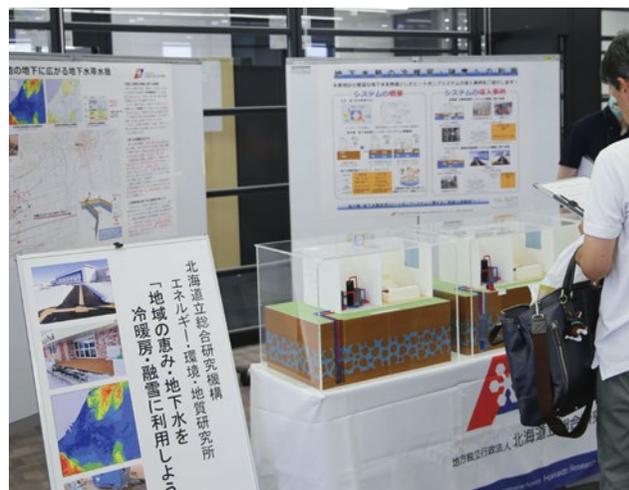
モルック体験会
/ とうべつモルッククラブ



おひさまニコニコ抽選会
/ 北海道オリンピア株式会社



ゆるエコフリーマーケット



地域の恵み、地下水を冷暖房・融雪に利用しよう
/ 北海道立総合研究機構



遊んで学べる、地球の未来!「マイアース」体験ブース
/ 当別町×大日本印刷株式会社 SUSTAINABLE PARTNER



ペットボトルキャップで世界に1つだけのオリジナルアクセサリを作ろう!
ワークショップ(左写真)とアップサイクルアクセサリの販売(右写真)



8/11 mon

ペットボトルキャップで
世界にひとつだけのアクセサリを作ろう!

/ アップサイクルアクセサリ-omami

中島 真弓:本来捨てられてしまうペットボトルキャップをアップサイクルし、アクセサリを作るワークショップを開催。販売も行いました。普段は細々とアクセサリを作り、イベント等で販売をするだけでしたが、北海道医療大学移転後の当別町を考え、自分にも何かできるのではないかと参加を決めました。アップサイクルコンテスト授賞者様への総評コメント等もさせていただき、大変貴重な経験となりました。今後も皆さんと手を取り合い、当別町の未来を盛り上げられたら嬉しいです。

8/11 mon

とうべつベンチャーキッズ
/ 当別町商工会青年部

当別の未来を担う子供たちに、商売の仕組みを実際に体験してもらうことを目的としています。ベンチャーキッズの流れは、商品の企画・仕入れ・製作・販売という一連の流れを体験することで、子供たちは自ら考え、行動し、結果を出すという貴重なプロセスを学んで頂きます!

ミライフス当日、お店の飾り付け、配置なども子供たちが担当し、ハンバーガー150個、ウッドキーホルダー50個を子どもたちが実際に販売、見事完売しました!

この体験が、子供たち一人ひとりの「チャレンジする心」や「自ら道を切り拓く力」を育む第一歩となれば、大変嬉しく思います。

商工会青年部として、継続的にベンチャーキッズ事業を続けていきたいと思っております!





8/11 mon

**産後ケアバランスボール体験
/ ha・zu・mo**

多久 美友:子育てに必要な「体力」の仕組みを学び、バランスボールや肩こりエクササイズで体を動かしました。参加者は全員2人以上の子育て中のママ。終了後は「スッキリした」との声も。日々奮闘するからこそ、自分を緩め大切にする時間が必要です。ママが笑顔になれば家族も笑顔に、子育て世帯が元気になれば町も元気に。今後も産後ケアを通して、ママと町を元気にしていきたいです。



8/11 mon

**健康長寿なミライを目指そう!
椅子ヨガ体験/ yoga bliss**

ヨガには運動やダイエットというイメージがありますが、ポーズによって心や体への作用があり、軽く体を動かすだけで心身のコントロールが出来ます。今回はポーズの種類に分けてどのような働きがあるか座学をしたのち、実際に身体を動かして座学の内容を実感してもらいました。



8/11 mon

**北海道メープル
カエデ樹液のビジネスモデリング
樹液活用から地域経済発展へ**

講演 / ギャニオンマーク

素晴らしい企画のイベントに参加できたこと。

当別町の若い力が新たな挑戦と未来に大きな役割を果たしていることが、感じ取れました！

当別町から世界に発信できるような企画が、未来にたくさん感じております。

今後是非ご継続ください。



8/12 tue

**若者が集うまち浦幌町に学ぶ
まちづくりフォーラム
/ 一般社団法人当別青年会議所**

講演 / 近江 正隆

一般社団法人当別青年会議所(松岡)：浦幌町は2010年に浦幌高校が閉校し、まちから高校が無くなる、というところから、講師の近江さんを中心に様々な挑戦をし、現在人口4,000人のまちながら、若者が集まるまちになっています。具体的には、近江さんは「うらほろスタイル」の推進や「十勝うらほろ楽舎」を立ち上げ、教育を中心に活動され、その成果や功績は日本国内のみならず、世界、遠くはアフリカから学びに来る方がいるほどです。その中で、キーワードとしては「受け止める」という真摯な姿勢。相手の想いに、受け入れるでもなく、受け流すでもなく、しっかりと受け止め、返すことが、人と人の信頼関係をつくり、そんな「受け止めてくれる大人」がいるまちに、子どもや若者が帰ってくる、という本質的な学びのあるお話をいただきました。

その姿勢は、子どもだけでなく、大人も同じです。まちは人の集まりであり、人が未来をつくる。これからも、人にも、まちの課題にも真摯に向き合い、明るい未来を描くために前進していきます。





8/12 tue どうべつミライマップを描こう / 当別町社会福祉協議会

杉田 慎之介:『当別町が10年後も活力あるまちを目指して』をテーマに、ワークショップを開催しました。内容は観光や移住を中心に据え、町内外から幅広い意見をいただきました。当日は10代から80代までの町内外37名が参加し、住まいや世代を越えてグループを組むことで、自分の町について語り合い、考えるきっかけとなりました。

ワークショップでは、当別の自然を活かした田んぼアートや農業体験、商業施設の誘致など、多彩なアイデアが寄せられました。地域づくりに新たな視点を得ることができ、今後の地域福祉活動にもつながる有意義な時間となりました。



知ろう!つながろう!パキスタンと当別

中古車事業経営HERO ハッサン
日本語ボランティア 鈴木 勝也

鈴木 勝也:町内で中古車業を営むパキスタン人と一緒に、パキスタンの歴史や文化、当別町を拠点にした理由、事業上の困りごとなどについて紹介しました。町内には20社ほどのパキスタン系中古車会社があり、同郷の人を頼りに集まるそうです。日本の習慣が分からず叱られた経験や騙された体験も語られ、気軽に話しかけてほしいと要望もありました。継続的に日本語学習や生活支援に町民も気軽に参加できる機会を作りたいです。北大で多文化共生を研究している先生が言っていました。「〇〇じん」ではなく「〇〇さん」として接することが大切だと。





8/12 tue

「北海道バレー構想」
Rapidus(ラピダス)と当別町
/ 一般社団法人当別青年会議所

講師・トークセッション/

Rapidus株式会社
代表取締役 専務執行役員 清水 敦男 氏

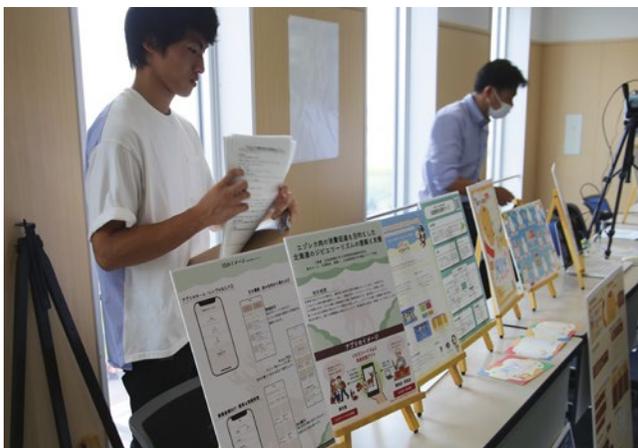
北海道バレービジョン協議会
顧問 和田 義明 氏

経済産業省 金指 壽 氏
当別町長 後藤 正洋 氏

一般社団法人当別青年会議所(松岡):今後、北海道が経済的に成長する上で、可能性または伸びしろがある分野は3つあると言われています。それは、観光、再生可能エネルギー、そして半導体です。一方で、北海道外と比較すると、輸送コストがかかるという構造上、製造業が少ないことも経済発展においてはディスアドバンテージとなっていました。この2点からも半導体という輸送コストが少ない製品を製造することは、北海道にとって極めて重要であることは明らかです。

ただ、今回のフォーラムを開催するまでは、どこか遠い話のように感じていたのが正直なところです。しかし、今回のご講演、トークセッションから、北海道バレー構想における当別町の可能性を感じ、まちとしてどのようにアピールしていくか、絡んでいくか、という部分を意識するようになった点で、本当に意義深い、重要なフォーラムになりました。

さらに、後日談とはなりますが、民意として、このテーマにいかに関心を持っていくかによって未来は少し変わるかも知れない、そんな風に感じており、具体的に一步、二歩進めることが出来ればと考えております。また、北海道医療大学を会場としたことで、多くの関係者の方に、大学講義棟をはじめとした素晴らしい施設に触れていただいたことは、次につながる機会になったのでは、と考えています。



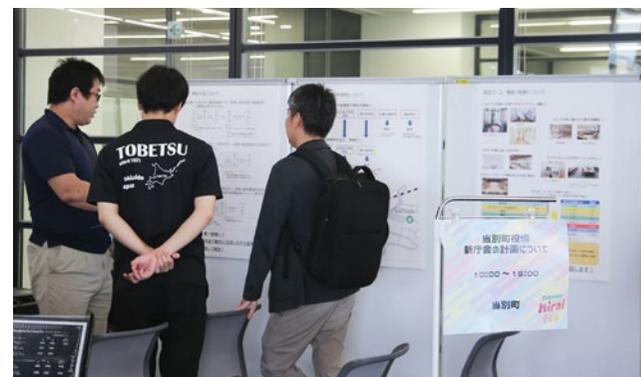
情報大生発!課題解決クリエイション / 北海道情報大学 斎藤ゼミ

北海道情報大学 斎藤ゼミナールでは、当別町への提案コンテンツ「ゼロカーボンクイズ」や研究パネル、江別市で展開している風景印プロジェクト、エッジカジビエ販促に関する研究などを展示しました。地域の方々との交流を通じて、学生にとって学びと成長の機会となり、研究成果を社会へ還元する貴重な場となりました。展示の機会をくださった皆様、ご来場くださった皆様に心より感謝申し上げます。



ロボットアーム展示 / 株式会社カイトクシ

人口が減る中で生産を維持する手法の一つとしてロボットやAIを提案しており、一般の方々にも身近に思ってもらえるよう、実機の展示をしました。特に子供たちに対して、ロボットやAIと一緒に働く未来について、問いを投げかけられたことはよかったです。人型や犬型の方がイメージがわかりやすいので、アーム型も利用シーンなど、伝えられるように展示方法を改善できればと思います。



8/12 tue

当別町役場新庁舎の計画について / 当別町企画部事業推進課

当別町役場の現庁舎は、築55年以上が経過しており、老朽化が進んでいる状況です。そこで、当別町では「当別町新庁舎建設検討委員会」を設置し、新庁舎の建設についてこれまでさまざまな議論を行ってきました。今回、その検討内容をわかりやすくまとめて展示し、皆さまに見ていただく場を設けました。



8/12 tue

未来の公共交通フォーラム / 当別町企画部企画課

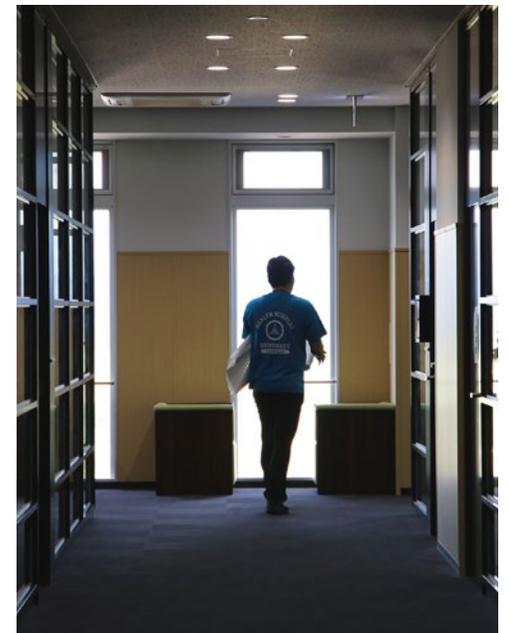
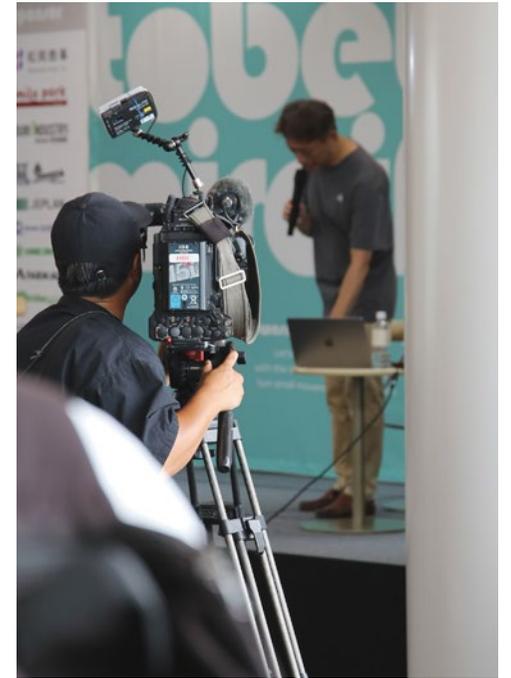
この企画は当別町の公共交通の現状と取り組みから、多くの人に公共交通の意義と将来について考えていただく機会とすることを目的に実施しました。当別ふれあいバスは北海道医療大学を含む3者で負担金を出し合って運行している公共交通ですので、大学移転の影響を受けます。このような状況を含めて公共交通の現状を知っていただくことで公共交通の重要性を理解していただき、最終的には利用促進に繋げたいと考えておりました。来年以降は参加者とディスカッションしながら未来の公共交通を描くような企画が出来ればと考えております。



8/12 tue

北海道医療大学構内 視察見学会

北海道医療大学の講義棟の活用方法について、北海道医療大学 三川部長の案内のもと、有志の皆様で視察見学会を実施しました。



TOBETSU Mirai fes 2025 SPONSOR



不動産事務所ネット



株式会社 吉岡塗装



Executive Secretary

事務局長
田中 大樹

最初のTobetsu Mirai Fesの開催にあたり、まずは、賛同してご参加いただいた企画者の皆様に感謝申し上げます。また、実行委員会の構成員として共にTobetsu Mirai Fesを作り上げていただいた当別町商工会青年部、北石狩農業協同組合青年部、当別町4Hクラブ、当別町役場の皆様に感謝申し上げます。

このTobetsu Mirai Fesは、北海道医療大学の移転という大きなまちの変化に対して、「このままではいけない」「みんなで明るい未来を描こう」という強い思いから、当別青年会議所が企画し、実現するに至りました。当初の案では、当別駅周辺エリアの施設や空き店舗を使用して開催する予定でしたが、当別青年会議所で監事を務める藤原啓輔君から「この目的と内容なら医療大学で開催するのはどうか」というアドバイスをいただきました。この時私は、「移転する大学が協力してくれるのだろうか」という不安と同時に、「実現出来たら面白い絶対話題になる!」と思いました。その後、町に相談をしたところ、大学と調整していただくことができ、北海道医療大学での開催が決まりました。正直なところ半信半疑でしたが、場所が決まってからは「やるぞ!」という覚悟を持って準備に取り掛かることが出来ました。

Tobetsu Mirai Fesは当然のことながら、初開催のイベントでしたので、何もかもが手探りで準備を進めておりました。イベントのイメージとしては、札幌市で毎年開催されているNoMapsというイベントを参考にさせていただいたのと、個人的に好きだった音楽フェスのイメージも取り込みつつ構築していきました。最終的には全てがイメージ通りとまではいきませんでしたが、なんとか形になってホッとしました。

Tobetsu Mirai Fesの当日までは、ギリギリまで準備が終わらず少しひやひやしておりましたが、なんとか当日まで間に合わせる事が出来、いざ本番が始まるとあっという間に終わってしまった気がします。準備は本当に大変でしたが、その準備も含めて楽しく充実しており、終わった時には少し寂しくも感じました。

しかし、終わったのも束の間、気づけば来年に向けてのことで頭がいっぱいでした。今年是最初の年で地盤を作ることも重要であり、それはある程度達成できたと思っております。今年の実省を生かし、次回に向けてしっかりブラッシュアップして、より良いTobetsu Mirai Fesにしたいと思います。

今回ご協力・ご参加いただいた皆様、そして来年新たに仲間として加わる皆様、共に当別町を盛り上げていきましょう。皆様と一緒に必ず明るい未来を描けるはずです。

とうべつミライフス実行委員会

一般社団法人当別青年会議所 / 当別町商工会青年部 / 北石狩農業協同組合青年部 / 当別町4Hクラブ / 当別町

8/10 sun
8/11 mon **2025**
8/12 tue

at

**Health Sciences University
of Hokkaido**

Let's connect with people
with the same ideas and join forces.
Turn small movements into big flow.

Towards a proactive city